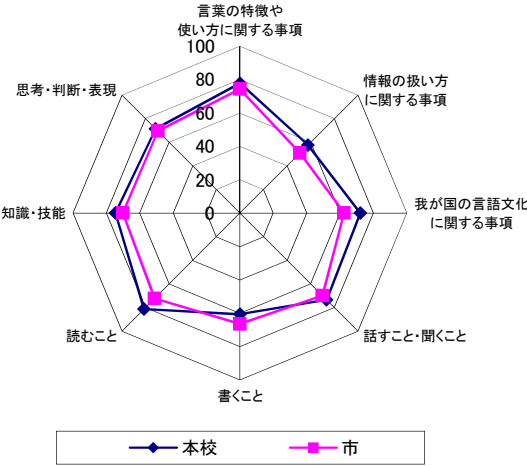


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.8	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	57.7	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	72.1	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	73.4	69.9	69.7
	書くこと	60.6	66.4	64.6
	読むこと	81.3	72.3	71.0
観点別	知識・技能	74.5	70.1	70.0
	思考・判断・表現	71.4	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字の読みの本校の平均正答率は9割を超えている。書きの平均正答率についても、若干問題によりばらつきがあるが、高い正答率となっている。 ●謙譲語についての設問では、市の平均正答率を3.5ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の学習は繰り返し練習を行うとともに、熟語の意味調べや学習した漢字を使った短文づくりをするなど、実際に活用する機会を増やすことで知識の定着を図りたい。 ・日常生活において相手や場面に応じた言葉遣いができるように、敬語に関する継続的な指導に努めたい。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は市の平均より高い。 ○情報と情報の関係から、文章の情報を整理する設問では、市の平均正答率を8.5ポイント上回っている。 ○●与えられた情報から文章にまとめる問題では、市の平均正答率よりも5.2ポイント高いが、本校の正答率も5割を下回っており、習熟には課題が見られる。	・自分の考えとなる根拠や事例を挙げ、読み手を納得させるような文章構成を考え、書く活動を取り入れていきたい。 ・学習の振り返りを書くなどの自分の考えを適切な言葉を選び、構成して作文する時間を日常的に授業に設定し、国語に限らず横断的に指導していきたい。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は市の平均よりも高い。 ○漢字の由来についての設問では、市の平均より9.7ポイント上回る結果となっている。	・語源を調べたり、単語を和語、漢語、外来語に区別したりするなど、言語に触れる機会をドリルや辞書を活用しながら日常的に授業に設定していきたい。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市の平均を上回っている。 ○話し合いを進める上で考えを広げるための工夫を捉える設問では、市の平均を約3ポイント上回っている。 ○話し合いの意図を明確にしながら計画的に話し合う方法を捉える設問では、市の平均を7ポイント上回っている。	・自分の考えを話す際には、話す目的や伝える相手をはっきり意識し、考えの根拠も併せて話すことができるように指導していきたい。 ・話し合い活動においては、話し手や聞き手、進行役の留意点を確認するとともに話し手と司会者の両方の役割を経験する機会を設けることで、実感を伴って理解できるようにしていきたい。
書くこと	平均正答率は市の平均を下回っている。 ○情報の関係について読み取り、目的に応じて、文章を簡潔に記述する設問では、市の平均を5ポイント以上上回っている。 ●指定された長さで文章を書く設問では、市の平均正答率を15ポイント以上下回っており、誤答類型では無回答の割合が市の平均と比べるとやや高い傾向にある。	・国語の書くことの学習だけでなく、行事の振り返り作文や他教科のまとめ新聞などの機会を生かし、段落の役割について理解できるよう指導していきたい。 ・はじめ、中、終わりの文章構成を意識させ、特に書き始めの文章表現を提示することで自分の目的に合った文を書くスキルを身に付けさせたい。また、文字数を意識して文章を書く機会を設けていきたい。
読むこと	平均正答率は市の平均を上回っている。 ○物語文の文章を読んでまとめた感想から自分の考えを広げる設問では、市の平均正答率を10ポイント以上上回っている。 ○説明文の構成や論の進め方を捉える設問の正答率は、市の平均を5～10ポイント上回っている。	・読書活動を推進・充実させることで、読む楽しさを味わわせると共に、文章読解力を身に付けられるようにしたい。 ・接続詞や文末表現から話の前後の関係を整理したり、登場人物の相互関係などを心情描写を基に捉えたりする活動を丁寧に行うことで、読みを深められるようにしていきたい。 ・授業の中で音読や範読を重点的に取り入れ、一言一言丁寧に読むことを習慣づけられるようにしていきたい。